内容「Ｃ　消費生活・環境」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　技術・家庭科　家庭分野　学習指導案

１．題材　「生活者としての意思決定と持続可能な社会（生活編・社会編）

1. 題材を指導する際のポイント

・この題材は「Ｃ消費生活・環境」の(1)「金銭の管理と購入」ア及びイと(2)「消費者の権利と責任」ア及びイとの関連を図っており、課題をもって、持続可能な社会の構築に向けて考え、工夫する活動を通して、消費生活・環境に関する知識及び技能を身に付け、これからの生活を展望して、身近な消費生活と環境についての課題を解決する力を養い、身近な消費生活と環境について工夫し創造しようとする実践的な態度を育成することをねらいとしている。

　　・キャッシュレス化の進行に伴い、小・中・高等学校の内容の系統化を図り、中学校に金銭の管理に関する内容を新設するとともに、消費者被害の低年齢化に伴い、売買契約の仕組みと関連させて消費者被害について取扱うこととする。

・「金銭の管理」を取り上げる際には、「Ａ家族・家庭生活」の基本的な機能と関連させ、持続可能な社会の構築などの視点から考えさせるとともに、「金銭の管理と購入」については、中学生の身近な消費行動と関連を図った物資・サービスや消費者被害を扱うこととする。

・計画的な金銭管理については、生活に必要な物資・サービスの購入や支払い場面を具体的に想定して学習を展開できるようにし、高等学校における長期的な経済計画や家計収支等についての学習につながるようにする。

・売買契約の仕組みについては、小学校における「買い物の仕組み」の学習を踏まえ、契約が法律に則ったきまりであり、既に成立している契約には法律上の責任が伴うため、消費者の一方的な都合で取り消すことができないことを理解できるようにする。

・生徒によって家庭の状況が異なることから、各家庭や生徒のプライバシーに十分配慮しながら取り扱うようにする。

３．題材の目標

　　 (1)　購入方法や支払い方法の特徴、計画的な金銭管理の必要性、売買契約の仕組み、消費者被害の背景とその対応、消費者の基本的な権利と責任、自分や家族の消費生活が環境や社会に及ぼす影響について理解するとともに、物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理が適切にできる。

1. 物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだ

して課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表

現するなどして課題を解決する力を身に付ける。

1. よりよい生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題

の解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しよう

とする。

1. 題材の評価基準

○知識・技能・・・知

①購入方法や支払い方法の特徴について理解している。

②計画的な金銭管理の必要性について理解している。

③売買契約の仕組みについて理解している。

④消費者被害の背景とその対応について理解している。

⑤物資・サービスの選択に必要な情報の収集・整理について理解しているとともに適切にでき

る。

⑥消費者の基本的な権利と責任について理解している。

⑦自分や家族の消費生活が家族や社会に及ぼす影響について理解している。

○思考・判断・表現・・・思

物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課

題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなどし

て課題を解決する力を身に付けている。

○主体的に学習に取り組む態度・・・態

よりよい消費生活の実現に向けて、金銭の管理と購入、消費者の権利と責任について、課題の

解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 時  間 | 学習内容 | 〇ねらい　・学習活動 | 指導上の留意点・支援（PP番号） | 評価 |
| ５ | １．前時の学習を振り返る。 | ⓵二者間契約の仕組みを振り返る。 | （1）  ・契約が成立すると両者に契約内容を守る権利と義務が生じることを確認する。  （2） |  |
| 10  10  15  ５  ５ | ２．キャッシュレス化の進行について知る。  ３．三者間契約を知り、二者間契約と比較する。  ４．金銭管理と消費行動について考える。 | ②キャッシュレス化が進んでいる現代社会の現状を理解する。  ③社会の現状を知り、日本のキャッシュレス化は世界からは遅れている理由を確認する。  ④クレジットカードの意味、仕組みを理解する。  ⑤クレジットカード、現金のメリットとデメリットを考え、発表し交流する。  ⑥成年年齢になった直後はトラブルに合いやすいことを理解する。そのような場面に直面したときに自分ならどうするか考える。  ⑦どのようなことを考えて、消費者として金銭管理や消費行動について心がけていけばよいのか考え、まとめる。 | ・キャッシュレスの意味を考えるよう助言する。  （3～8）  ・日本は現金への信頼が厚く、カードへの不安感が大きいことに気付くようにする。（９～１２）  ・政府がオリンピックを機に推進しようとしていたことを確認する。（13～15）  ・クレジットカードは信用に基づき、後払い方式で契約が行われることを理解する。（16～22）  ・班ごとに考える内容を分けるなどの工夫をすると時間短縮が可能となる。生徒からの発表内容を掲示するなどして、まとめる。（23～24）  ・キャッシュレス、クレジットカードなど便利なものはたくさんあるが、トラブルも増加していることを理解できるようにする。（25～28）  ・様々な支払方法のメリット、デメリットを振り返り、自分の家庭生活やこれからの消費行動にとって何がよいのかを考える機会とする。（29～30） | 知③ |